

(別紙4)

公立病院改革プランの概要

団 体 名		北海道中富良野町					
プ ラ ン の 名 称		中富良野町立病院改革プラン					
策 定 日		平成 21 年 2 月 28 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 25 年度					
病院 の 現 状	病 院 名	国民健康保険中富良野町立病院					
	所 在 地	北海道空知郡中富良野町西町3番25号					
	病 床 数	一般 35 床					
	診 療 科 目	内科・小児科 計 2科 (毎週水曜日ペインクリニック診療)					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>当町唯一の医療機関で地域包括医療・ケア拠点として、「予防と診療の一体的提供」を行う病院として、地域医療を確保するとともに疾病予防・介護予防等を通じ地域住民の健康を守り、安全・安心な生活を支える。</p> <p>当病院における保険者別受診動向をみると中富国保被保険者が高い割合(約70%)で受診している。また、年齢別受診率は、70歳以上が75.9%を占めている状況にあり、地域住民の各種健診や疾病予防を行い住民の健康の保持増進を行っていく。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>不採算地区病院運営に要する経費(特別交付税相当額)</p> <p>高度医療における増こう経費(高度医療機器の保守点検料・減価償却分)</p> <p>医師などの研究研修費に要する経費(費用額の1/2)</p> <p>(医師・看護師等研究研修費・病院事業運営研修経費)</p> <p>企業債利子に要する経費(建設改良費分)</p> <p>基礎年金拠出金公的負担経費</p> <p>共済長期追加費用負担経費(職員共済組合特別負担金)</p> <p>その他の経費(高度医療機器減価償却分など)</p> <p>医師・看護師の確保に要する経費</p> <p>企業債元金に要する経費</p> <p>建設改良に要する経費</p>					
経営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	職員給与費比率	83.0	82.3	82.3	79.7	79.7	%
	病床利用率	53.4	56.1	58.8	74.1	74.1	%
	入院患者1人1日当たり診療収入	17,697	19,203	19,000	19,000	19,000	円
	外来患者1人1日当たり診療収入	8,964	9,131	9,230	9,300	9,300	円
上記目標数値設定の考え方		病床利用率:平成22年度に病床数を削減					

				団体名 (病院名)	北海道中富良野町 (国民健康保険中富良野町立病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
年延べ入院患者数		7,229	7,169	7,519	7,848	7,848	
年延べ外来患者数		18,961	17,232	18,005	18,150	18,150	
年延べ健康相談件数		4,825	5,849	5,255	5,300	5,300	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	平成18年度に医療事務業務を民間委託 平成20年度に栄養指導業務を民間委託				
		事業規模・形態の見直し	平成22年度に病床数の削減を図る。				
		経費削減・抑制対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正職員(技術職)の退職に伴う補充を臨時職員で対応することにより賃金の削減を図る。 2. 看護師の業務内容の見直しを行い臨時職員(看護補助者)の削減を図る。 2. 事務・看護職員の時間外勤務に対し、臨時的時差出勤及び代休制度を活用し時間外手当経費の削減を図る。 				
		収入増加・確保対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種健診業務の充実を図り、受診者の健康状態を把握し再診療の呼びかけを行い収益の増加を図る。 2. 体の不自由な患者を自宅まで週2回無料で送迎を行い安定した収益を図る。 3. 今後も毎週水曜日に行っているペインクリニック診療の充実図り無料送迎と連携しながら収益の増加を図る。 				
		その他	当病院は、救急指定を受けていないが、従来通り時間外診療を行い収益の増加を図る。				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	54.6%	18年度	53.8%	19年度	53.4%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成19年5月に療養病床12床を全廃し、一般病床35床で運営を行っているところであるが、現在、病床利用率60%前後で推移していることから平成22年度に病床数を削減する。					

団体名 (病院名)	北海道中富良野町 (国民健康保険中富良野町立病院)
--------------	------------------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当病院が所在する富良野医療圏には、公立病院等が3病院所在。中富良野町立病院(中富良野町35床)、上富良野町立病院(上富良野町44床)、社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院(富良野市255床)	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	当病院は、小規模であることや病床利用率が低いことなどから、中核病院との連携のもと診療所化を含めた規模の適正化について検討する。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成20年8月5日 平成20年10月9日 平成25年度予定	<内容> 富良野圏域自治体病院等広域化・連携検討会議が開催 富良野保健医療福祉圏域連携推進会議が開催 富良野圏域自治体病院等広域化・連携検討会議において中核病院との連携のもと診療所化を含めた規模の適正化について検討・協議を進める。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input checked="" type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成25年度予定	<内容> 中富良野町立病院運営委員会において、診療所化などを幅広く検討
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	既存の組織 町立病院運営委員会(学識者2名・町議会代表2名・国保運営委員会代表1名計5名)において、点検・評価実施し、町の広報誌やインターネット等を活用し公表する。	
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年1月頃	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	北海道中富良野町 (国民健康保険中富良野町立病院)
--------------	------------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	309	329	334	344	351	351
	(1) 料 金 収 入	281	298	298	309	316	316
	(2) そ の 他	28	31	36	35	35	35
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	69	152	163	162	148	148
	(1) 他会計負担金・補助金	68	151	162	161	147	147
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	1	1	1	1	1	1
	経 常 収 益 (A)	378	481	497	506	499	499
	入	1. 医 業 費 用 b	458	476	484	493	486
(1) 職 員 給 与 費 c		265	273	275	283	278	278
(2) 材 料 費		106	111	115	113	113	113
(3) 経 費		62	66	68	71	70	70
(4) 減 価 償 却 費		18	17	17	17	16	16
(5) そ の 他		7	9	9	9	9	9
2. 医 業 外 費 用		12	12	13	13	13	13
(1) 支 払 利 息		2	2	2	2	2	2
(2) そ の 他		10	10	11	11	11	11
経 常 費 用 (B)		470	488	497	506	499	499
支	1. 医 業 費 用 b	458	476	484	493	486	486
出	(1) 職 員 給 与 費 c	265	273	275	283	278	278
	(2) 材 料 費	106	111	115	113	113	113
	(3) 経 費	62	66	68	71	70	70
	(4) 減 価 償 却 費	18	17	17	17	16	16
	(5) そ の 他	7	9	9	9	9	9
	2. 医 業 外 費 用	12	12	13	13	13	13
	(1) 支 払 利 息	2	2	2	2	2	2
	(2) そ の 他	10	10	11	11	11	11
	経 常 費 用 (B)	470	488	497	506	499	499
	経 常 損 益 (A) - (B) (C)	92	7	0	0	0	0
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	72	85	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益 (D) - (E) (F)	72	85	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)	20	78	0	0	0	0	
累 積 欠 損 金 (G)	102	24	32	40	48	56	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	255	361	377	372	375	378
	流 動 負 債 (イ)	29	41	46	30	30	30
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等償で未借入又は未発行の額 (I)	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ)	226	320	331	342	345	348	
{(イ)-(I)} - {(ア)-(ウ)}							
単 年 度 資 金 不 足 額 ()	2	94	11	11	3	3	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	80.4	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	73.1	97.3	99.1	99.4	98.3	99.1	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	67.5	69.1	69.0	69.8	72.2	72.2	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	85.8	83.0	82.3	82.3	79.2	79.2	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率							
病 床 利 用 率	53.8	53.4	56.1	58.8	74.1	74.1	

() N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」 - 「N - 1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」 - 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	北海道中富良野町 (国民健康保険中富良野町立病院)
--------------	------------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債						
	2. 他会計出資金	2	2	2	2	2	2
	3. 他会計負担金	1	1	1	0	0	0
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金	24	15	15	0	0	0
	6. 国(県)補助金						
	7. その他						
	収入計 (a)	27	18	18	2	2	2
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	27	18	18	2	2	2	
支 出	1. 建設改良費	27	20	16	0	0	0
	2. 企業債償還金	2	2	2	2	2	2
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計 (B)	29	22	18	2	2	2
差引不足額 (B) - (A) (C)	2	4	0	0	0	0	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	2	4	0	0	0	0
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計 (D)	2	4	0	0	0	0	
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(71,898) 139,453	(162,184) 235,840	(68,567) 161,454	(0) 160,964	(0) 146,998	(0) 146,682
資本的収支	(0) 26,699	(0) 17,651	(0) 17,601	(0) 1,739	(0) 1,848	(0) 1,964
合計	(71,898) 166,152	(162,184) 253,491	(68,567) 179,055	(0) 162,703	(0) 148,846	(0) 148,646

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。